

策定年月日	R7.6.4
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊賀市 (242161)
地域名 (地域内農業集落名)	柘植 山出

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	16.80 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	16.80 h a
② 田の面積	16.80 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.00 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	13.45 h a
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
(備考)	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・当地区は農業者の高齢化が進んでおり、今後、遊休農地の増加が懸念されることから、地域内の後継者や農業生産組織の育成など担い手経営体を確保していく必要がある。
・当地区は農業者の高齢化が進んでおり、後継者も不足することが見込まれるため、今後、遊休農地の増加が懸念される。このため、地域外から担い手農家や農業生産組織を受け入れ、農地の維持を図っていく必要がある。
・当地区は農業者の高齢化が進んでおり、後継者も不足することが見込まれるため、今後、遊休農地の増加が懸念される。このため、農地の集積・集約などの条件整備を進め、地域内外から新規就農者を受け入れて農地の維持を図っていく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・当地区の栽培品目は次のとおりである。 (主要な栽培品目は、水稻（麦・大豆）である。)
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、より効率的に農作業を行えるよう農地の集積・集約化を進める必要がある。
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、より効率的に農作業を行えるよう農道の拡幅や高機能水路への改修を検討していく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
・担い手農家への農地集積・集約化を基本とする。
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標
現状の集積率 100 % 将来の目標とする集積率 80.1 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標
・農地中間管理事業を活用しつつ、団地数の削減及び団地面積の拡大を図る。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組	
・農地中間管理機構を通じて、担い手農家へ農地の集積及び団地化を進める。	
(2) 農地中間管理機構の活用方法	
・担い手農家の意向を把握し、できる限り団地化が図られるよう農地中間管理機構を活用して集積・集約を進める。	
(3) 基盤整備事業への取組	
・地区内の既存の農道は狭く、ほ場近くに駐車することが困難であり農作業に支障をきたしているため、拡幅に向けて事業化を検討する。	
・既存の用排水路は老朽化が進み、メンテナンスに苦慮していることから、より機能性の高い水路への更新を検討する。	
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組	
・市やJ Aとも連携し、地域内外から多様な経営体を受け入れ、地域に定着できるよう農地のあっせんや栽培技術等の支援を行う。	
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
—	

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①獣害防止柵設置、罟の設置

⑦草刈等の管理、水路の保全管理

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	農業者BB	水稻	0.2965 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者W	水稻	0.5071 ha	ha	水稻	0.5071 ha	ha		
利用者	農業者U	水稻	0.8837 ha	ha	水稻	0.8837 ha	ha		
利用者	農業者X	水稻	0.5572 ha	ha	水稻	0.8602 ha	ha		
利用者	農業者H	水稻	0.6526 ha	ha	水稻	0.6526 ha	ha		
利用者	農業者Q	水稻	0.8167 ha	ha	水稻	0.8167 ha	ha		
利用者	農業者M	水稻	0.0795 ha	ha	水稻	0.0795 ha	ha		
利用者	農業者CC	水稻	0.3972 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者O	水稻	1.2685 ha	ha	水稻	1.2685 ha	ha		
利用者	農業者B	水稻	0.7875 ha	ha	水稻	0.8813 ha	ha		
利用者	農業者DD	保全管理	0.0813 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者EE	水稻	0.1924 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者FF	水稻	0.0938 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者I	水稻	0.3978 ha	ha	水稻、保全管理	0.2618 ha	ha		
利用者	農業者GG	保全管理	0.1536 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者HH	水稻	0.3026 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者D	水稻	0.0981 ha	ha	水稻	0.0981 ha	ha		
利用者	農業者C	水稻	0.8834 ha	ha	水稻	0.8834 ha	ha		
利用者	農業者J	水稻	0.2693 ha	ha	水稻	0.2693 ha	ha		
利用者	農業者II	水稻	0.2119 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者K	水稻	0.0854 ha	ha	水稻	0.0854 ha	ha		
利用者	農業者JJ	水稻	0.0581 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者KK	水稻	1.3093 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者L	水稻	0.1631 ha	ha	水稻	0.1631 ha	ha		
利用者	農業者A	水稻	1.6401 ha	ha	水稻	1.6401 ha	ha		
利用者	農業者P	水稻	0.5593 ha	ha	水稻	0.5593 ha	ha		

利用者	農業者N	水稲・保全管理	0.3408 ha	ha	水稲・保全管理	0.3408 ha	ha		
利用者	農業者LL	水稲	0.1057 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者F	水稲	0.1330 ha	ha	水稲	0.1330 ha	ha		
利用者	農業者T	水稲	1.2723 ha	ha	水稲	1.2723 ha	ha		
利用者	農業者Z	水稲	0.3587 ha	ha	水稲	0.3587 ha	ha		
利用者	農業者Y	水稲	0.2718 ha	ha	水稲	0.2718 ha	ha		
利用者	農業者MM	水稲	0.0868 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者G	水稲	0.1654 ha	ha	水稲	0.1654 ha	ha		
利用者	農業者AA	水稲	0.1183 ha	ha	水稲	0.1183 ha	ha		
利用者	農業者NN	水稲	0.2910 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者OO	水稲	0.0806 ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者E	水稲	0.2189 ha	ha	水稲	0.2189 ha	ha		
利用者	農業者V	水稲	0.1546 ha	ha	水稲	0.1546 ha	ha		
利用者	営農組合R	水稲	0.2819 ha	ha	水稲	0.3329 ha	ha		
利用者	農業者S	景観作物	0.1703 ha	ha	景観作物	0.1703 ha	ha		
計	41経営体		16.7961 ha	0 ha		13.4471 ha	ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）